2008 年 4 月 2 日付 The Oregonian 誌の記事抄訳

シギは藻類を食べている，研究者は語る
ー新たな餌の発見，専門家はこれまでシギ・チドリは昆虫や甲殻類を食べていると考えていたー

ヒメハマシギは多くの時間を費やして水辺を歩き回り，先のとがったくちばしで干潟の泥をつつき，水生昆虫や甲殻類を食べているのであろうと，鳥類研究者はこれまでずっと考えてきた．

ところが，オレゴン州の海岸に多く生息するこの華奢な脚を持つシギは，実は干潟の泥にくっついている微小な藻類やバクテリアの膜をひっきりなしに食べていたことがわかった．

この膜をすすりながら食べることにより，ヒメハマシギは食物全体の 60%をまかない一日に必要なエネルギーの約半分を摂取していると，カナダのブリティッシュコロンビア州の河口域や実験室で大々的に調査を行った研究者らは語っている．

このシギの舌の電子顕微鏡写真が，これまで知られていた食性に対し疑問を投げかけるきっかけとなった．

カナダ野生生物研究センターの生物学者の Robert Elner らは，この鳥の舌がたくさんの味蕾や髪の毛のような棘をもち，粘液で覆われていることに気づいた．そこで，微生物膜を食べているという仮説を検証するため，カナダ，フランス，そして日本の研究者で構成される研究チームは，採餌の様子をスローモーション撮影し，胃内容物を苦労して分析した．

この研究成果は Ecology 誌に掲載される．

この発見は，食物連鎖における鳥類の位置に関する常識を覆すことになる．というのは，シギ・チドリは肉食動物というよりはほとんど草食動物であることが判明したからだ．さらに，このシギは何万羽という群れで西海岸沿いに渡りをするため，シギは各々中継地でおびただしい量の微生物膜をすすっていることになる．

研究者らは「この発見により，干潟の泥表面を覆っている”バイオフィルム”を保護する手順を含めた保全計画が重要であることが強調されることになるだろう」と語っている．